



市政への相談事は
佐藤 ふみおへ
電話 029(831)5397
029(834)7366

発行/2025年4月

かすみがうら新聞

日本共産党かすみがうら市委員会

かすみがうら市稲吉東4-5-18 Tel 029(834)7366 Fax 029(834)7367



日刊紙 月 3497円
日曜版 月 990円

第1回かすみがうら市議会

宮嶋市長3年目の一般会計予算

物価高騰に苦しむ市民の暮らし支援に逆行

佐藤議員 「市民の立場に立ち帰れ」と反対討論

2025年かすみがうら市議会第1回定例会は3月19日、本会議を開き修正された2025(令和7)年度一般会計予算(183億2442万2千円)を賛成多数で可決しました。佐藤議員は「物価高騰に苦しむ市民の暮らし支援に逆行する」として2024(令和6)年度補正予算を含め、反対しました。

物価高騰で苦しむ市民への家計支援を!

佐藤議員は、「最大の反対理由は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の扱いが問題だ」と述べた上で、「その充当事業が学校給食費第2子以降の無償化(3600万円)やランドセルを贈呈する入学祝品(5857万7千円)及び保育士確保対策補助金(12800万円)になっ

教育費削減先にありき問題は

また、物価高騰で苦しむ市民への家計支援こそ充てるべきです」と主張しました。※昨年度は、水道基本料金3カ月減免も実施しています。



これまで一般財源として扱っていた事業に、この交付金を活用することは本来の趣旨に反します。本来ならば、昨年(2023)度実施したように、限定的ですが学校給食費無償化に活用すべきです。

市内の商工業者と市民の暮らしを削減

商工費について佐藤議員は、「財政が厳しいとして住宅リフォーム助成金を400万円(前年度800万円)に半減したことは市内の商工業者の生業と市民の暮らし応援にはならない」と批判。担当によれば令和6年度推計で約1億1200万円の経済効果があると述べています。

住宅リフォーム資金補助金とは、地域経済の活性化や市民の居住環境の向上を図るため、市民が市内の施工業者を利用して個人住宅のリフォームを行う場合に、工事費(消費税を除く)の10%(上限10万円)を補助します。

住民こそ主人公の市政を貫け!

佐藤議員は、「自治体の本旨は『住民の福祉の増進』です」と述べた上で「一般会計予算は、市民のいのちと暮らしの充実に使わなければならない」と主張。



スマートインターチェンジからの接続市道は無駄づかい

(仮称)千代田PAS



「宮嶋市長におかれましては、『住人こそ主人公』との立場に立ち帰って市政に望んで頂きたい」と要請し、反対討論を行いました。

議会傍聴記

3月13日佐藤議員の一般質問をネット配信を傍聴した▼私は霞ヶ浦コミュニティセンターの浴室は再開が希望である▼市当局側は「浴室利用者が少ないからリニューアル施工はやらないで廃止にする」と、まことに冷たい物言いだが、だいたい市は施設の利用についてどれほどの活用の呼びかけがあったのか▼施設を利用したいのは主に高齢者だが交通手段や現場のサービス、個人的な参加希望者をそっと見ているだけでなく関係団体やそれぞれの地域に能動的な呼びかけなどあったのだろうか。施設の存在すらも知らない人もあるだろうし、利用の手段だってどれほど浸透していたのだろうか▼もともと施設の目的は市民サービスなのだから廃止を言う前に理解を深めるためのアクションがないのはなぜか。また、これまで利用した市民の意見をどれだけ聴いたのか疑問でならない【K】

〇各市町村等の経営の一体化の意向状況

区分	市町村等名
令和6年度 基本協定締結 (21事業体)	古河市、石岡市、結城市、笠間市、常陸大宮市、筑西市、 稲敷市、桜川市、行方市、銚田市、つくばみらい市、 小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、大子町、美浦村、 阿見町、河内町、八千代町、栃木県野木町※ ※野木町は、現状、古河市と浄水場を共同で設置
検討中 (12事業体)	土浦市、下妻市、常総市、常陸太田市、鹿嶋市、潮来市、 守谷市、那珂市、坂東市、かすみがうら市、五霞町、 湖北水道企業団 ※2025年度での協定締結を目指す市町村あり
単独経営継続 (10事業体)	水戸市、日立市、高萩市、北茨城市、つくば市、 ひたちなか市、神栖市、東海村、境町、 茨城県南水道企業団

議員 藤 佐
質 一

大口市町村が単独経営継続を表明
1県1水道事業は 既に破綻！

佐藤議員は3月13日の一般質問で、すべきではない」と主張してきまし茨城県が新たに策定した『水道ビジョ

ン』である1県1水道事業について、上下水道部長は、「県及び本市の「霞ヶ浦導水事業など無駄な水開発が進められ、結果的に高額な県水が、本市水道事業にとって最適な運押しつけられることになり、水道料金の値上げにつながるとして、加入

令和6年度基本協定締結21事業体は、給水人口の31・5%

佐藤議員は「令和6年か」と質問。上下水道部56人。これに対して、度基本協定締結した事業長は「令和4年度の水道令和6年度中に協定を締結した21市町村は84万7160人で、割合にすると31・5%」と答えました。

佐藤議員は「つまり自治体の参加自治体は半数に見えますが、給水人口にした約3割です。自前の浄水場をなくして、市町村は災害時にどう対応するのか。命の水を守るのかというのが問題だ」と主張。水戸市等大口給水人口を要する市町村が単独経営継続を表明しています。佐藤議員は「1県1水道は既に破綻している」と述べ、「加入はやめるべきだ」と強

調しました。



第1回定例会

県水が53・8%、
地下水が46・2%

佐藤議員は、西成井にある霞ヶ浦浄水場と下稲吉中学校の近くにある下稲吉第2浄水場の県水の受水量と地下水の汲み上げ量の内訳を質しました。

上下水道部長は「霞ヶ浦浄水場は県中央用水から受水しており受水量が89万トン余り。地下水が82万トン余りです。



霞ヶ浦浄水場（かすみがうら市西成井地内）



下稲吉第2浄水場（かすみがうら市下稲吉）

広域化によって県水を100%受水するまでに20年かかる」と

下稲吉第2浄水場は、県西用水から受水をしており142万トン余り。地下水は116万トン余りです。総量は430万トン弱です。

県水受水と地下水の割合は、令和5年度実績で、霞ヶ浦浄水場で県水が51・9%、地下水が48・1%、下稲吉第2浄水場、県水が55%、地下水が45%、全体で、県水が53・8%、地下水が46・2%です」と答弁。

佐藤議員は「1県1水道の構想によると、この自己水源を放棄して、全て県水に切り替えるということか」と質しました。上下水道部長は「広域化の協定を結ぶということになりますと、全水が

佐藤議員は「広域化すれば霞ヶ浦浄水場と下稲吉第2浄水場は、廃止することになるのか」と問い「これまでの施設更新工事への投資額はどれ位か」と質しました。上下水道部長は「霞ヶ浦浄水場の更新工事は令和4年度から9年度までとなっており投資額は11億6千万円。一方、下稲吉第2浄水場の更新工事の総額は7億3600万円余」と答弁。また、浄水場の廃止について上下水道部長は「浄水場の中には配水機能（各家庭へ給水する機能）や給水

機能があります。広域化になったとしても、各家庭へ配水する配水場については下稲吉第2浄水場と霞ヶ浦浄水場の2か所が配水場になると考えている」と述べた上で「まだ広域化になるか単独で実施するかは、今現在では決定していません。単独の場合には当然その浄水機能は必要となります。また、広域化になったとしても、本市が茨城県ですとよくなってから、下稲吉第2浄水場が完全に県水が100%になるのは10年かかります。霞ヶ浦浄水場もさらにその後10年かかると言われています。トータル20年ほど期間が必要で」と答えました。

◇ ◇

佐藤議員談…無駄な水源開発である霞ヶ浦導水事業の負担金や県水の完全受水のための工事等を考えると単独での経営が有利であることは明らかです。1県1水道に加入すべきではありません。

議員 佐藤 議員 佐藤 議員 佐藤

旧あじさい館の浴室再開について

宮嶋市長

公平に提供されるべき行政サービスとして継続することは難しい

改修の財源はある

決して諦めないことだ」と強調。

金は3億4119万7千円です。過疎債等も活用すれば、リニューアル（全面改修）して、若い人たちもロングラン（長期）で使える浴室にすればよいのではないかと。内風呂があるから要らないというのではなく、銭湯文化もある、交流の場にもなる。市民みんながいきいきと生活できる、そういう環境の整備も考えられる」と主張しました。

佐藤議員は3月13日の一般質問で、「霞ヶ浦コミュニティセンター（旧あじさい館）の浴室の再開を求める声が高まっていますが、令和7年1月8日、市長、副市長の協議にて方向性を決定とある」と指摘、市長に答弁を求めました。

宮嶋市長は「令和6年4月、洗いの壁などから漏水が急激に悪化したため、休止とされています。漏水調査の結果も踏まえ、今後の方向性を庁内で慎重に検討しましたが、浴室

一式的見積りは類推

佐藤議員は「前回、具体的な見積りを求めたが、詳細な見積りは提出されなかった」と質しました。市民部長は「設計事務

所に確認をしたところ、茨城県内で類似する温浴施設の設計資料を参考とし、霞ヶ浦コミュニティセンターの規模に合わせた費用を算出したとのこと、類推であつて数量を積算



「旧あじさい館」の浴室（浴槽）
＝2024年6月撮影

したのではないことから、内訳書の各数量は一式と表示せざるを得ないとのこと」と述べ、「本施設の改修工事に向けた設計を実施すれば、精度の高い積算が可能だが、別途費用が必要であり、全面改修には多額の費用が必要となるため、これ以上詳細な設定を行うことは適切ではないと考えた」と答弁しました。

浴室問題は未解決

佐藤議員は「まだまだ、この浴室施設問題は解決

していない」と述べた上で、「本市が誇れる旧あじさいの浴室がなくなったら、高齢者の福祉サービスはどうなるのか」と質しましたが、市長は「浴室施設は、これまで高齢者の生きがいづくりや健康維持に一定の役割を果たしてきたが、今年団塊の世代の皆様が75歳以上の後期高齢者になることや、超高齢社会に対応するため、より自立支援や介護に重点的に財源を当てなければならぬ」と答弁。市長はこれまでの浴室施設の果たす役割を否定しませんでした。

浴室施設再開は市民運動で復活させよう

佐藤議員は「一議員が主張してもなかなか前に進まない。改めて市民運動で復活させるといいうり方もある」として次のような提案をしました。

「市長は廃止を決めた。しかし、それで全てが終わったわけではありませぬ。地方自治は二元代表制です。市長が決めても、議会がしっかりと市民の要望を受け止めて議会で提案すれば、これは引つくり返すことができます。旧あじさい館の浴室はまだ解体されていません。市の令和5年度の決算の積立金は52億6441万2千円。人口1人当たりの積立金は13万407円です。茨城県内の市町村の積立金は人口1人当たり12万1736円です。平均より上です。当市の積立金の内訳を見ると、公共施設等整備基

中心市街地における公共施設の在り方に関する検討委員会について

佐藤議員

傍聴者の制限を撤回せよ

市民に愛される図書館・文化交流センター整備に全力！
現在の複合交流拠点整備計画は、場所や施設の内容に多くの問題があります。この計画は全面的に見直し、より多くの皆さまが徒歩や自転車でも行ける市街地中央に、市民に愛される図書館・文化交流センターの整備を進めて参ります。

宮嶋市長は、2022年7月の市長選挙で「市民に愛される図書館・文化交流センター整備に全力」との公約を掲げ当選しました。【上図】佐藤議員は、市長の公約実現を後押しするため「千代田地区市街地中心に図書館」を造るよう求めました。

昨年12月18日に開かれた『在り方検討会』第1回委員会で傍聴者の人数を制限しました。なんと市担当事務局側から「構成委員は10人だから5人に」と提案したのです。佐藤議員は「市民からの意見を聞くという態度が見えない」と厳しく指摘し、傍聴者5人の制限の撤回を求めました。

月額500円を否決 200円で可決

3月議会のご報告をします。お誘いあわせのうえ、お気軽にご参加ください。